

**答** ごみ有料化や小型家電リサイクル等の問題も含めた具体的な抑制、減量化、再生利用の推進方策を検討し、適正処理を行うための収集、運搬、処分、個別計画を定める予定である。

**問** 資源回収団体が資源物回収に一定の役割を果たしているが、団体は減少傾向にあり奨励交付金の見直し拡充としては、どうか。

**答** 交付の基準額については、他市の状況を研究し、見直しも考えたい。

### 防災・減災としての耐震改修の促進を

**問** 市内耐震化率は県下でも低位にあり、改修費用の補助拡充や借入資金の金利補助等の実施の考えは。

**答** 補助の拡充は耐震化率の向上につながると考え、財政状況をみながら検討課題としたい。

### 稲吉郭哲（自由クラブ）

### 蒲郡市の定住促進について

**問** 人口増加につながるまちづくりをどのように進めているのか。

**答** 住宅規制の緩和、蒲郡市の住みやすさの魅力を市内外へ情報発信する企画の推進、雇用の場の確保を重要施策として取り組んでいる。

**問** 形原・西浦地区には春日浦や民間等の分譲地があり、有効活用してもらいたい。同地区では名鉄電車の駅等まで行けない方も多く、巡回バスを運行すると市民に利用されると思うが、市の考えはどのようなか。

**答** 新たな施策を実施する際は名鉄電車の存続も踏まえ、各駅へ連結させる形が望ましいと考えている。

### 企業用地開発・企業誘致について

**問** 人口増加に企業誘致は必要と考えるが現状は。

**答** 市は企業用地開発に向け、精力的に企業訪問を続けている。

### 伊藤勝美（公明党）

### 蒲郡市人材育成基本方針について

**問** 管理監督者の人材育成に取り組む姿勢等が大きな影響を及ぼすと方針にうたっている。その自覚を促す市長の見解を伺う。

**答** 管理監督者の姿勢等が影響することは言うまでもないが、管理監督者だけではなく、全職員がこの方針に基づき、戦略的な地域づくりの担い手としてフットワークよく、スピード感を持ち、現場主義を貫く職員となるよう育成を進め

ていきたい。

### 南海トラフ巨大地震の被害想定について

**問** 市のハザードマップには液状化地域が2段階で表示されているが、市民の危機意識は低い。今後の対策はどうか。

**答** 特に埋立地にいる方には啓発を行いたい。液状化の危険がある区域に災害防止の必要な規制をすることは、県の対応も含め、検討課題と認識している。

### 来本健作（無党派）

### 市長公約の人口増加策について

**問** 自立した行財政運営が持続でき、多くの市民が幸せを感じる市政運営ができれば、人口は大きな問題ではないと考える。将来人口の数値目標の根拠は。

**答** 将来人口推計の32年の予測で約7万8000人とあるところを子育て支援の充実、良好な住環境整備、産業振興等の施策によ



三河湾から望む蒲郡市街地

**問** 人口増加を見込み、32年の目標人口を8万人とした。人口増加だけを追い求めず、市民の幸福度を上げることを主眼におくべきと考えるが、行政サービスの満足度向上のための具体的な施策は、どのようなか。

**答** 安心してお産・子育てができる町づくり、子育て支援や少人数学級の充実等も含め取り組みたい。25年度は定住促進のプロジェクト事業を進めていく。

### その他の質問

未婚・晩婚・未産・晩産化の現状と対応